

笹川流れ

笹川流れは村上市の中心部から北に 11 キロにわたって続く海岸線で、夏には海水浴客で賑わう。澄んだ水と白い砂浜が、荒々しい自然美と対照をなしている。溪流や小川が流れ込む無数の入り江、海からそそり立つ断崖絶壁、波によって形作られたトゲトゲした岩が織り成す風景だ。絶え間なく吹きつける海風によって奇妙な形に曲げられた松などの植物が、露頭を覆っている場所も多い。

海岸線に沿って続く曲がりくねった国道 345 号線をドライブするのはこの風景の概要を知る良い方法だ。また、比較的海が穏やかな 4 月から 10 月にかけては、桑川港から 1 日 9 便、約 40 分の遊覧船に乗ることもできる（強風のため欠航する場合もあるので注意）。

冬は暴風雨と荒波が頻発し、プランクトンや溶けた藻類などの有機物を多く含む冷たい海水が岩に激しくぶつかることによって起こる現象で、入り江がクリーム色の「波の花」で満たされることもある。

食の面では、笹川流れは岩牡蠣の名産地として知られている。岩牡蠣は冬から春にかけて、小川が海に放出する栄養豊富な水を食べて、海岸沿いでふっくらと育つ。もうひとつの特産品

は海水を小さな工場で煮詰めて作られる天然塩だ。塩の工房ではその伝統的な製法を見学
することができる。